



平成23年12月27日(火) 経済の伝書鳩

北見商業高校商業科の3年生3人が日本商工会議所の簿記検定2級に、同校情報処理科の3年生4人が情報処理技術の基礎知識を問う国家資格のITパスポート試験にそれぞれ合格した。難関とされる試験だけに7人は「とてもうれしい」と声を弾ませている。

北見商業高3年生、難関の試験に合格

日商簿記2級3人、国家資格のITパスポート4人

合格したのは簿記2級の森隆博さん、濱野春香さん、長尾朋樹さん、ITパスポートが高橋正輝さん、竹森孝将さん、宮崎凌太さん、栗林藍利さん。簿記2級は高校程度の合格率は平均約30%の商業簿記と工業簿記を修得し、財務諸表を読む力がつき、企業の経営状況を把握するのに役立つとされる。問と喜びを語る。ITパスポートはシステム関連や情報技術関係に就職しようという人だけでなく、すでに働いている人も基本を復習する上で必要とされる。



「さらに上を目指したい」と意欲満々

の知識も必要で覚えるのが大変でした」と振り返る。

7人は高校卒業後の進路が専門学校への進学、企業への就職、公

試験の出題範囲が経営全般、IT管理、IT技術と幅広い。取得することで就職・進学に有利とされる。問題の6割以上正解で合格となる。情報系の高校の合格率は約50%。竹森さんは「専門用語が多く、簿記や数学

務員とそれぞれ決まっている。取得した資格を今後活かしていくとともに「さらに上を目指したい」などと張り切っている。(成)

平成24年1月5日(木) 北海道新聞 夕刊

簿記2級に3人 ITパスポート4人

北見商業高生が合格

北見商業高(土井博之校長)の3年生3人が日商簿記2級検定、4人が情報技術や経営管理に関する国家資格の「ITパスポート試験」にそれぞれ合格した。同校の授業で取得できる最難関の資格で、生徒たちは「仕事や専門学校での勉強に役立てたい」と意気込んでいる。(海老原知世)



「仕事や進学後に生かしたい」

生徒たちは自らテーマを設定して学習する「課題研究」の授業で、これらの資格に挑戦。4月から11月の試験までの約7カ月、週2回の授業や補習で勉強を重ねた。日商簿記2級に合格した商業科の長尾朋樹君は「問題が複雑で、合格できてびっくりした。4月からは金融業界で働くので、資格を生かして頑張りたい」と話した。ほかに、森隆博君と濱野春香さんも合格した。

ITパスポート試験に合格した情報処理科の高橋正輝君は「みんなと支え合いながら勉強するのは楽しかった。情報系の専門学校に進学し、さらに上の資格を目指したい」と笑顔を見せた。

この試験には、竹森孝将君、宮崎凌太君、栗林藍利さんも合格した。

日商簿記2級検定とITパスポート試験に合格した北見商業高の生徒たち